



2023 年 10 月

栃木県テニス協会 理事長 吉井正光

TTA レポート(No.128)

かごしま国体が終わりました。栃木県は成年女子が3位となりました。昨年のとちぎ国体が5位でしたからふたつ順位を上げました。テニスでは過去最高位だそうです。

鹿児島では初日が雨で順延になり、翌日は8ゲームから1セットマッチに変更して2Rをこなす強行スケジュールとなりました。それでも選手たちは体力の限界に挑戦し奮闘してくれました。また、4日目には桜島から噴煙が上がり火山灰の中での戦いとなりました。鹿児島の洗礼を受けてしまった訳です。それでも選手たちはその力を十分に発揮してくれました。これらは栃木県選手を応援してくれる地元の声が選手たちに届いた結果だと確信しています。本当にありがとうございました。

さて、栃木県に目を向けてみると、とちぎ国体で盛り上がったスポーツへの情熱は失われていないでしょうか。栃木県ではとちぎ国体で得られた様々な財産をレガシーとして将来に引継ごうと「栃木県スポーツコミッション」が立ち上がっています。

ここでいうレガシーとは新たに作られた施設だけに留まらず、人的財産も含まれていると思います。人的財産の中には競技者に加え国内で最も大きな大会を開催した運営ノウハウも含まれるのではないのでしょうか。

私たち競技団体には、これらをフル活用して全国規模のイベント開催が期待されていると思います。

先日、栃木県スポーツコミッション設立記念講演会に出席してきました。そこでは地元の特産品を活用して様々なイベントを展開している金沢市の事例が紹介されました。スポーツコミッションの事務局が中心になって地元企業を巻き込んだ競技会が開催され、競技会に付加価値を加えていることが分かりました。

栃木県も多くの観光資源があると共に栃木県ならではの価値ある品々がたくさんあります。前述の鹿児島県でも誇りをもって地元を紹介していました。

栃木県テニス協会では、栃木県、地元の産業と手を携えて全国的なテニス大会を開催できれば栃木県のテニスは明るいものになると思います。

最後に、この TTA レポートは不定期的に更新していきます。

